

鹿児島県漁海況週報

平成28年1月7日発行(12月31日～1月6日)
第2637報【旧暦:11月21日～11月27日/月齢19.7～25.7/潮汐:中潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

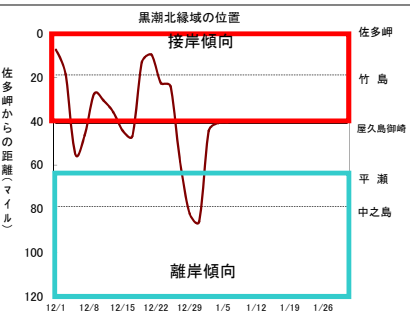
黒潮北縁域は、1月6日現在、屋久島御崎の北0.4マイル付近にあり、接岸している。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、1月5日現在、66マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先々週と比較して、全ての海域で0.1～1.2℃降温した。
平年比較では、与路島、与論で“平年並”、鹿児島、笠利崎で“かなり高め”、その他の海域で“著しく高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先々週比較	平年比較	評価
黒潮流域	24.2	-0.5	+1.5	著しく高め
鹿児島	18.5	-0.4	+1.0	かなり高め
佐多岬	21.6	-1.1	+2.4	著しく高め
竹島	23.0	-0.8	+2.4	著しく高め
屋久島御崎	23.3	-1.2	+2.2	著しく高め
中之島	24.3	-0.3	+1.9	著しく高め
笠利崎	23.0	-0.1	+0.9	かなり高め
与路島	22.4	-0.8	+0.2	平年並
与論	22.2	-0.8	-0.2	平年並
甌海峡	20.1	-0.7	+2.3	著しく高め

鹿児島一那覇定期客船観測は1/4-1/6
串木野一甌定期客船観測は1/6

【漁況】

○定置網

西薩南部海域では、マルソダ(600～700g)が6トン/日、サワ(0.6～1kg)が5トン/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、マルソダ(300g)が150kg/日、チウオ(1kg)が40尾/日、スマ(2kg)が30尾/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で27統がサハ類中、カマス、チウオ主体に24トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でチウオ、カクチウシ、サワ主体に5トンの入網。種子島海域では、ツムブリ(2～3kg)が300kg/日、スマ(3kg)が100kg/日の入網。

○パッチ網

志布志湾海域では、製品で29.6トンの入札があった。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、5～10kgサイズを10～80尾/統・日の漁。大隅半島南部海域では、5～7kgサイズを100尾/統・日の漁。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、4～18箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、7～15箱/隻・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

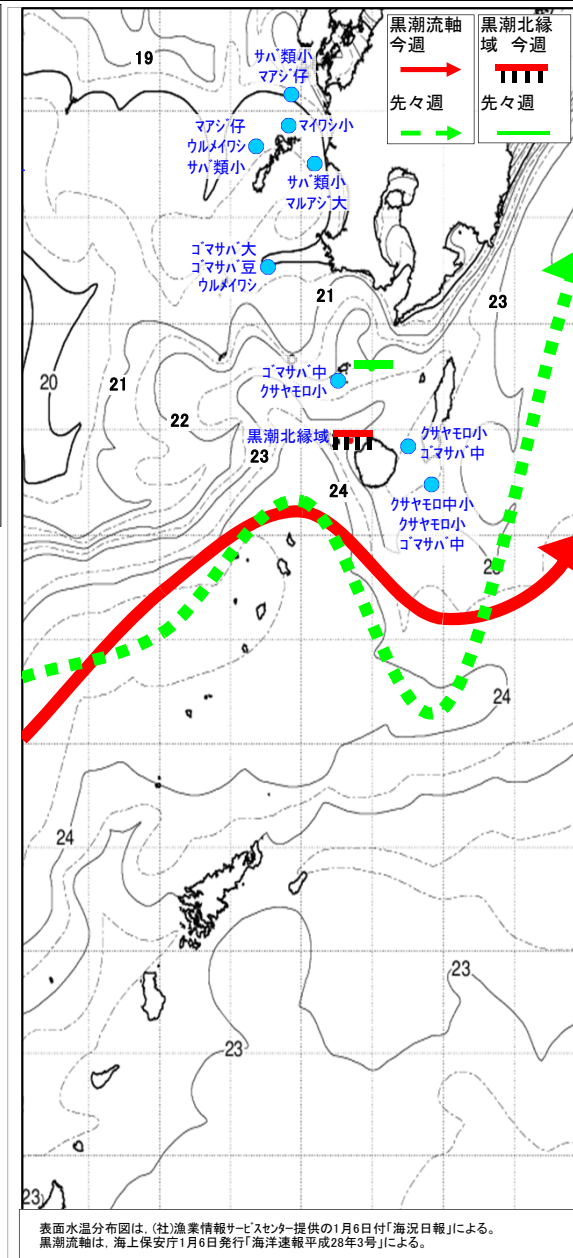
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期		
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	4	59	甌西 牛深沖	マアジ仔52 サハ類小25 ウルメイワシ15	14.6	0	—	0	—
		中	3	118	繩瀬 串木野沖	マイワシ小77 マアジ大8 サハ類小5	39.2	0	—	0	—
	枕崎	大	1	71	津倉	ゴマサハ大44 ゴマサハ豆42 ウルメイワシ6	71.4	0	—	0	—
		中	8	129	種子島南 硫黄島沖 島間沖	クサヤモロ小32 クサヤモロ中小23 ゴマサハ中19	16.1	0	—	0	—
	内之浦	中	0	—			—	1	1	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
計	大	5	130			26.0	0	0	0	0	
	中	11	246			22.4	1	1	0	0	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—			—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	6	11	長島	ウルメイワシ83 マイワシ小15	1.8	0	—	0	—	
	内之浦	0	—			—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	27	24		サハ類中34 カマス13 チウオ11	0.9	42	28	27	23	
刺網	阿久根	38	6	長島 川内沖 甌 阿久根沖	キビナゴ100	0.2	31	3	24	2	
	カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	0	—		—	0	—	0	—
小			0	—		—	0	—	0	—	
海旋		0	—			—	0	—	0	—	
		中	0	—			—	0	—	0	—
		海旋	0	—			—	3	1363	1	592

○トビウオロープ曳網

屋久島海域では、1日のみ中トビを7箱/統、大トビを3箱/統の漁。

○その他

西薩海域では、ごち網でマダイ(0.5～1kg)を20～100kg/隻・日の漁。刺網でサワ(2.5kg)を多い船で90kg/日の漁。一本釣りでメジナ(500～600g)を60尾/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でマダイ(0.2～4kg)、チダイ(150～500g)混じりで190kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でソコトヨリ(100～300g)を20～30kg/隻・日、マダイ(1kg)を10～20kg/隻・日、ハモ(500～600g)を10kg/隻・日の漁。熊毛海域では、かかり網でアサヒゴ(300～350g)を20kg/隻・日、一本釣りでゴマサハ(600～700g)を15～30尾/隻・日、マダイ(5～6kg)を4～50尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、一本釣りハマダイ(3～5kg)を110kg/隻・日、ナヨウキン(2～3kg)を40kg/隻・日、2日操業でチウオ(1～2kg)を80kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の1月6日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁1月6日発行「海洋速報平成28年3号」による。